

.....

仮称・ボストンの秋。作品展は大成功。その後、ボストンに数日滞在後、次の目標、バーモント州から、カナダへ。取材は、**その後も**、何度も**訪問**。

久楽の作品は、その後、ボストン以外でも、学芸員ほか関係者のサポートで、作品が披露されたと、その他いろいろ、報告を受けた。

現実に戻って、**国内外、時代の変化が厳しい状況**。**気持ちで負けない**ことが大切かと。

発信は、行き当たりばったり、見切り発車ですが、**始めなければ、始まらない**、と・・・



このボストンでの体験、いろいろな方々との出会いから、脚下照顧。

人生の選択と決断、一時、人生のダブルスタンダード。

並行して、新しい目標に挑戦、当初は、自主目標、次は、必達目標、そして、挑戦目標。

夢は探すものというより、夢は創るもの。夢と現実のダブルスタンダードの側面も。

前述の、ジョン・ジュイ氏ほか、チャールズ・サンダース・パース。

そして、ウィリアム・ジェームス。これら**先人の名言**を知る機会を持ったこと。

今年も、まだ4ヶ月ある、9月が始まる。

～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

出会いに感謝。ただ、見とれているばかりではと、反省。気持ちを切り替え、実践。夢の世界と、現実。和紙夢絵には、ふさわしくない画像と思ったが、私が判断することではないとの、思いもあった。マメに画像記録をつづけた。

和紙夢絵には、和紙夢絵の良さ。写真には、写真の良さ。先入観を持たず、画像記録。眼前の出会い、当たり前ものを、当たり前、素材として、画像記録。誰のためではない。見せたい人があったというより、自分一人が、楽しむため。理屈っぽいことを、メモしていた自分が、好きになれなかったこともある。



今、素敵に思う